福島市北幹線応急仮設住宅ヨーガ療法ボランティア 活動報告

【日 時】 2015年2月28日(土) 13:30~15:30

【場 所】 北幹線応急仮設住宅 南集会所

【実施者・報告】 今村幸子

【参加者】 女性 7名

【状 況】 集まる前から、暖房つけて暖かくされていた。それぞれ7人の女性が集まる。昨夜の突風の怖さ、並列している仮設の住まいで不安だった。壊れたところはなかった。私の住まいは、山手の方なので、門柱の鎖がはずれて壊れたことなど話題が出た。はじめ、冷たい指先を計測、手足動きした後の計測、すべて終了後の温度計測に協力をお願いした。(今の身体から、目視で確認できる方法として理解していただく。)

皮膚温度計計測一覧ア《皮膚温度計12℃》

氏名	開始前	手足動作後	終了後	反応
りさん	35℃	36℃	35℃	パートの仕事後急いで参加
オさん	20.5℃	3 4℃	3 4℃	
カさん	18℃	3 4 ℃	30℃	相馬から車で寒かった
イさん	18℃	35℃	29℃	こんなに温かくなるとは
マさん	2 4 ℃	3 4℃	3 4℃	
サさん	32℃	35℃	3 4 ℃	左の方温かい、感じている
スさん	22℃	35℃	3 4℃	

【指導内容】

- (1) ボーレ式呼吸に連動する胴体体壁の動きの意識化~後頭部から順に顔、両手触れながら、脳内触れた、触れている2極の感覚意識化を促す(大脳機能の組織化の資料配布)、身体を動かし、反応を感じて、コントロールしてくれる頭も触れてみましょう。
- (2) ヨーガ療法の実習の際の留意点と意識化をアーサナの合間に話しながら実施(膝が悪いとか肩こりがつらいとか伺うが、特になしとの声。)
- *無理しないように、目は閉じても開いていてもいいです。緊張している、リラックスしているなぁを感じること。動作後に現れる肉体の変化、心身に感じたこと観察、筋肉に力を入れるときは半分以下の力で、(鼻から息を吐いて、あ・う・むの発声また、無音でもいい。) 息を止めないようにしましょう。
- *ヨーガ療法は、筋肉に負荷をかけて、筋肉を強化します。脳を刺激し記憶を司る海馬の容積を 増強します。呼吸意識したり、肉体の緊張と弛緩を意識するので、本当のリラックスを体験で き、自分の体に対する気づきを得られます。
- (3) アーサナ=アイソトニック~アイソメトリック~
- ①座位 ・手を負荷掛け=リストベンディング・・・左右2
 - ・片手握る(下向き)反対広げて抑える、関節・腕まわりの筋肉刺激
 - ・両肩後ろから回転(5回)~片手前まわし2回

- ・両腕後ろ握手(胸前後開閉)…3回
- ・ネックムーブメント(前後左右呼吸と同調)負荷掛け2回
- ・肩膝伸ばし・アルダカティチャクラ・アーサナ…3回(ひねりと側面刺激(腹部への刺激を意識化促す)
- ・両手背腰部と負荷掛け。(骨盤へ反応は?刺激意識化)・・3回
- ・開脚して、手足負荷掛け、(内転筋への刺激・弱化予防)・・2回
- ②仰臥位・両手腹部にのせ、5呼吸観察
 - ・膝直角、足首交差負荷掛け=有音で膝のばす、…2回
 - ・セッツバンダアーサナ=腰へのリラックス…3回
 - ・ねじり(片膝と手、片膝とかかと)腰部刺激
- ③側臥位・下の足浮かせて、腰への刺激…2回(反対も)
- リラックス・1分=うつ伏せにて・1分・正座で伏せて呼吸観察(頭部が落ち着くのを確認して 正座)・・反応確認1分
- ④ 呼吸法 ・カパラバディ「片鼻10回]アヌロマ・ヴィロマ「10回」
 - ・1対2の呼吸法、・お腹、胸、喉まで意識しての呼吸法
- ⑤心観瞑想法・あるがままの呼吸観察1分

【参加者の様子・感想】

- ○ヨーガ療法の実習の際の留意点と意識化を話しながらしたので、緊張と弛緩を意識し、適度な負荷がけになっていたようである。すっきりした。気分良くなり眠くなったとの声
- 回数が多く、居住している皆様がささい合いながら、サークル活動ととらえ、誘いあうようになられた、参加者の多くなっている。4月からもうかがっていいかと聞くと、是非来てほしいとの声が皆様から出ていた。4年間継続し、受け入れてくださるようになったなあと実感した。
- ○終了後、持参したコーヒーとお菓子でお茶会、体験したことからお聞きしたいことの協力願う
- **<福島っていいなと思うことは>・・・**果物がおいしい・とても景色がいい(冬の山々)温泉のたく さんあって、週2回、月3回行っている。人柄の良さもいいね。頷き合う。
 - たくさんのお祭り、行事があるのに参加できたこと.(つるし雛が見事だったとのこと飯野町、川 俣町の作品展示見た)
- **<いやだなあと思うことは>・・・**暑いこと、冬の雪が多いこと(海の方は温かいので特に感じる)
- **〈突然の避難で、今後気を付けていた方がいいことは〉・・・**たくさん避難先はどこか知っておくべき、また、そこのルートを調べておくこと。ガソリンがなくならないように、いつも半分になったら満タンにしておくこと。急いで逃げなければならないが、常時飲んでいる薬を持っていくこと。(高齢者時に)個人病院は対応されたが、大きな病院は受け付けてくれなかった。病人かかえた方は大変だった。
- < 今の仮設しているところからの避難場所確認は、> 知っているよ。わからない、
 - JA会館か・北警察署・笹谷小学校だよと会話されている。吾妻山の噴火のこともあるので、注意 しようと会話され、次回の約束して散会しました。